

令和3年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和3年8月27日(金曜日)

○日時 令和3年8月27日 午前10時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 所管事務調査について

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種について

(2) 学校給食について

○出席委員(7名)

委員長	松浦敏司
副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	川原田英世
	工藤英治
	澤谷淳子

○欠席委員(0名)

○議長 井戸達也

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(4名)

立崎聡一
平賀貴幸
村椿敏章
山田庫司郎

○説明者

副市長	後藤利博
健康福祉部長 (新型コロナウイルスワクチン接種推進室長)	桶屋盛樹
新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事	江口優一

.....
教育長 岩永雅浩
学校教育部長 田口徹

学校教育課長 小松広典

学校教育部参事 高橋善彦

○事務局職員

事務局長 林幸一

次長 石井公晶

総務議事係長 法師人絵理

総務議事係主査 寺尾昌樹

午前10時00分開会

○松浦敏司委員長 おはようございます。

ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、所管事務調査であります。

さきの第2回定例会で、何人かの委員から数項目にわたって所管事務調査の提案がございました。

その後、正副で調整をして、今日は2つの項目について所管事務調査をすることといたしました。

進行であります。初めに新型コロナウイルスワクチン接種についての説明を受け、その後委員の皆さんの質疑を行い、その後理事者の入替えを行い、教育委員会より説明を受ける予定となっております。

そのようなことで進行したいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは初めに、新型コロナウイルスワクチン接種について説明を求めます。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事 お手元の資料1号を御覧願います。

新型コロナウイルスワクチン接種につきまして、御説明いたします。

初めに、当市における令和3年7月末時点の総人口は34,094人となっており、内訳は64歳以下の方が22,874人、65歳以上の方が11,220人となっております。

次に接種券の発送であります。医療等に従事する方、高齢者施設に入所及び従事する方、児童施設に従事する方、障がい者施設に入所及び従事する方、また東京農業大学における職域接種の対象となる方や接種対象外の12歳未満の方を除き、記載のとおり5月10日から年齢ごとに順次発送し、7月29日

に完了しております。

次に接種の開始であります。接種方法といたしましては、市が設置する会場での集団接種に加え、医療機関における個別接種、また接種会場や医療機関に出向くことができない施設入所者などを対象とした巡回接種を実施しておりますが、いずれも医療機関や医師、看護師の多大な御理解と御協力により順調に進んでおります。

3月9日の医療等に従事する方への接種開始以降、高齢者施設に入所及び従事する方、75歳以上の方、児童施設に従事する方、65歳から74歳の方、基礎疾患のある方、障がいのある方、障がい施設に従事する方、60から64歳の方など国から示された接種順位を参考に進めておりましたが、それぞれ接種が終了または接種終了の見通しが立ったことから、7月15日から一般枠となる59歳以下の方の接種を開始しております。

当初、接種の終了につきましては、11月を見込んでおりましたが、医療機関や医師、看護師の御理解と御協力により集団接種における1日当たりの接種人数の拡充や夜間接種の実施、また9か所の医療機関における個別接種の開始により接種体制の充実が図られたため、現時点では9月中の終了を見込んでおります。

さらに、東京農業大学における職域接種も8月8日に2回目の接種が終了したところであり、本学の学生及び教職員のほか、市内学校に従事する教職員、公共交通機関や衛生業務に従事する方などへの接種が行われ、このことも接種加速化の要因と考えております。

また、ワクチンの確保状況につきましては、既に配分されている分、また今後の計画配分を含めて十分な確保量であるため、今後も予定どおり接種を進められる予定です。

次に接種の状況であります。8月25日終了時における全体の1回目接種人数が24,732人、うち高齢者が10,790人、全体の2回目接種人数が18,362人、うち高齢者が10,597人となっております。

現時点では、接種人数の集計に東京農業大学で職域接種を受けた網走市に住所を有する方、また9月以降年度内で12歳に到達する方の人数が含まれていないため、実際の接種人数はお示した数値より多くなります。

なお、全体的に接種率は高い状況にありますが、10代から20代までの接種率が低い傾向にあるため、

年度内で12歳に到達する方の接種を含め、対応を検討してまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○松浦敏司委員長 それでは質疑に入りますが、今日はちょっと暑いので、上着を脱いで結構ですので、皆さん暑い方は上着を脱いでください。

理事者もどうぞ。

それでは質疑に入ります。

どなたか質疑ありませんか。

○近藤憲治委員 当市のワクチン接種ですね、極めて順調に進んできているというふうに認識をさせていただいております。

この間、様々な手法も資してですね、特に高齢者の皆さんなんかは、ふれあいの家だとか老人クラブと連携しながら、申込みの代行をする形でですね、非常にスムーズに進めていただいたというふうに受け止めています。

先ほどお話の中で、やはり10代、20代が低いとおっしゃられていましたけれども、全国的な傾向からすると、結構1回目の接種もこの時期にしては高めにきているなどというふうに思っていますけれども、さらにそこにより接種していただくような取組をしていく旨のお話がありましたが、具体的にどのようなことを考えておられるのか、お話いただきたいと思えます。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室 参事 今回のこの8月25日時点で示させていただいております10代、20代の接種率は、まだ46.6とか55.2と、まだほかの方よりも低くなっておりますが、東京農大の学生さんがまだこの数値の中に含まれておりませんので、これよりも少し高くなると考えております。

あと今後の進め方といいますか、若い方、どうしてもマスコミとか、そういう報道等によって影響が大きくなると考えておりますので、そういう周知方法をより具体的な方法を検討しながら、周知を進めていきたいと考えております。

○近藤憲治委員 周知の方法に工夫をしていきたいというお話でした。

そこは、これから工夫をしてやっていただきたいというふうに思います。

あわせて、このワクチン接種に関連してですね、相当市の職員さんたちが部署を超えて、集団接種の会場に毎日のように入れ替わり立ち替わり、運営側でですね、勤務をされていたというふうに見させて

いただきました。

また、駐車場の整理なんかもシルバー人材センターさんなんかにもお願いをしながら、丁寧にされてきたというふう思うのですが、職員さんたちの労務管理の視点から、過剰な超過労働とかにはなっていないのかどうかというところも一方では気になるのですが、そこについてはどのような押さえをされていますか。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室 参事 毎日集団接種会場におきましては、職員、会計年度職員やシルバー人材センターの方にも来ていただいたほかに、どうしても必要となる人数が出てまいりますので、その場合は、市の職員に動員をお願いして毎日5名から10名、こちらは午前と午後で分けまして、午前中9時から1時までを大体5人、午後1時から5時までを5人という形で職員課のほうを通じて皆様に来ていただいております。

ただあくまでも午前中とか午後という形で、4時間という勤務でお願いしておりますので、それ以外、勤務が終わった後はまた職場に戻られて休憩等を取っていただいて、通常の業務を行っていただいていると考えておりますし、また当然同じ方が出ないように職場のほうでも、その辺は管理職が留意しながら同じ方が連続して出ないように工夫をいただいていると考えております。

また、例えば今日何人出るかというふうにいただいた中で、なるべく仕事が重複しないよとか、逆に経験した仕事についていただくことで、新たな業務業務の負担がかからないよということも考慮しながら、お願いしているところであります。

○近藤憲治委員 はい、わかりました。

最後にですね、イスラエルなんか見ていると、3回目の接種というのを国としてやり始めていて、国会での議論でも3回目が必要なのか、そうではないのかというやり取りがあるのですけれども、市としては、そこをどういう押さえで現状されていますか。

○桶屋盛樹新型コロナウイルス接種推進室長 報道等で3回目、ブースター接種というようなことでなされていますけれども、まだ国から正式なものが来ておりませんので、今のところまだそこまで考えには至ってはおりませんが、もしもやるというようなことになればですね、対応を検討することになりますし、実際にどの程度の……今2万4,000人というような接種実績がありますけれど

も、実際にどの程度の方が打つのかというようなところも踏まえながらですね、集団接種をまたやらなければいけないのか、または個別で済むのか、いろいろな医療機関との調整も含めてですね、検討していければというふうに思っております。

○松浦敏司委員長 よろしいですか。

ほかに。

○金兵智則委員 9月中に終了予定ということで、大方のめどはついてきたのかなというところなのですけれども、1点把握されているのかどうかをお伺いしたいのですけれども、接種し終わった後に体調が悪くなった方、この人数とか、状況とかって市で把握されているのですか。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室 参事 8月26日現在、集団接種の会場では、例えば打った後に基本的には15分から30分間待機していただくのですけれども、その中でちょっと具合が悪くなった方とか、あるいは家に帰ってからちょっと具合が悪くなりましたという、市のほうにそういう報告があった方については、今のところ80名というふうに当市では押さえております。

○金兵智則委員 具合が悪くなった程度というものもあるのですけれども、その辺の状況についても押さえられているということでもよかったですか。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室 参事 多いのはやっぱり、接種するのが基本的に利き腕の反対側ですので、大体の方が左のほうに打つのですけれども、やっぱり左手がしびれるとか、ちょっとぼーっとするような訴えが多いというふうに聞いております。

また、当然15分間の待機の間には、看護師等がおりますので、その方が詳しく状況等の聞き取りをし、その情報については、随時推進室のほうに上がってきている状況にあります。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

いいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは、ないようですので、この件につきましてはこれでよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

確認されました。

ここで、理事者入替えのため暫時休憩いたします。

午前10時14分休憩

午前10時16分再開

○松浦敏司委員長 それでは、再開いたします。

これより、教育委員会関係に入ります。

学校給食についてであります。理事者より説明をお願いいたします。

○高橋善彦学校教育部参事 それではお手元の資料2号、学校給食を継続して安定的に運営できる体制づくりに係る保護者説明会等の実施状況を御覧願います。

学校給食調理場の一部集約化に関する計画の変更内容についての説明実施状況としまして、PTA役員への説明、保護者説明会、意見の問合せの実績を記載してございます。

まず、PTA役員への説明でございますが、集約対象校を優先しまして、令和3年4月20日から7月5日までに7校、32人に説明をさせていただきました。

その他の小中学校につきましては、各PTA会長さんとの協議によりまして、会長さんから各役員さんへの説明をしていただけたということや、保護者説明会を実施するのであれば、不要であるといった御意見をいただきましたので、役員への説明は省略させていただいたところでございます。

次に、保護者説明会の実績でございますが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により、当初予定より大幅に遅れたところでありますが、全校を対象に案内をしまして令和3年6月21日から7月21日までに実施したところでございます。

事前申し込みが13校、46人でございましたが、実績としましては12校、33人となっております。

保護者から出された主な内容としましては、自校の調理場をできれば維持してほしいという要望や、集約化により調理する食数が増えることで調理員への負担であったり、配送時の事故などを危惧する声があったり、現状や対応策などを説明し、ある程度の御理解をいただいたところでございます。

一方で、一昨年からの説明を聞いて現状は理解しており、早く安定的に安全な給食を提供してほしいといった御意見もございました。

また、男性が働ける職場環境の整備や集約化は、段階を踏むだけのことであって、委託を考えるとときには一部民間委託、一部直営ということではなくて、市内全体でやるべきであるといった御提案も頂いております。

次に、保護者説明資料を配付後に市教委に寄せられた御意見、問合せについてでございますが、こち

らは全てEメールによりお受けしております。今日現在での実績は6件ございました。

内容に関しましては、記載のとおりでございますが、6件中5件につきましては教育長名でメールにて返信をしているところでございます。

また、1件につきましては、直接御本人と面会の上回答をお渡し、説明の上意見交換を行っているところでございます。

また、こちらへ寄せられた御意見、御質問につきましては、学校教育課のホームページにも掲載しているところでございます。

説明は以上でございます。

○松浦敏司委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ありませんか。

○川原田英世委員 今、保護者説明会の実施状況ということで説明いただいたのですが、説明会はもうこれで終わったということでの報告ということなのでしょうか。

○高橋善彦学校教育部参事 学校関係者への説明は、これで終了したということでございます。

○川原田英世委員 学校関係者への説明会は終わったということで、何か他に考えていることがあるということなのでしょうか。

○高橋善彦学校教育部参事 このほかにですね、今まで請願を出された団体ですとか、個人というところでも、意見交換をさせていただいたところではございますので、今後もですね、引き続きそういった方たちとは、できる範囲で意見交換などをしていきたいなというふうに考えているところでございます。

○川原田英世委員 はい、わかりました。

それで、今説明いただいたこの保護者説明会の状況以外、学校給食について何点か伺いたいのですが、これは今日のは……そういった形で質疑を行ってもよろしいものなのか、委員長にちょっと確認なのですが。

○松浦敏司委員長 もう1回。

○川原田英世委員 今説明いただいたこの資料以外に、給食についての質問等をさせていただいてもいいものなのか、どうなのかの確認なのですが。

○松浦敏司委員長 できるだけこの資料の範囲で、それ以外のことについては、また所管事務調査を今後行う予定なのです。

できるだけこの範囲にとどめてほしいのですが、

これに関連しているのであれば、若干ならよろしいかと思いますが。

ちょっと中身がわからないので、とりあえず出してもらって。

○川原田英世委員 この説明会の中では、早期にやっていたいということで、明確にはなっていないのだと思うのですけれども、9月議会で提案等を検討しているようなことも伺っていましたが、先般の報道を見ますと、そういった方向ではないという記事が出ていたのですけれども、現状の計画はどのようになっているのかをお伺いします。

○岩永雅浩教育長 今、川原田委員のほうから、9月の提案についてということで御質問がございました。

8月26日付の報道でも年度内断念というふうに報道されておりますが、これについては事実でございます。

これまで保護者説明会も実施をし、さらに計画変更した中で配送の方法ですとか、具体的な取組について検討してきましたけれども、建設費などの試算なども考えますと、9月あるいは12月に提案をするというのはなかなか難しいという、総合的に考えて判断をしたところでございます。

○川原田英世委員 はい、わかりました。

やっぱり冬場の工事となると、コストがちょっとかかるということと、最近では建設用資材の高騰が続いていますので、夏冬に問わずに今後も建設コストが上がっていくことも想定されるのかなという中で判断だったというふうに思います。

ちょっと1点確認なのですが、報道の中で、道からの申請に関する記載で課題があったという記載もあったのですけれども、ちょっとこれは初めて聞く内容だったものですから、その点についてちょっと説明をいただければと思います。

○高橋善彦学校教育部参事 こちらはですね、潮見小学校に係る部分でございまして、潮見小学校が建つ場所につきましては、第一種中高層住居専用地域に位置しておりまして、給食調理場を集約化することによって共同調理場ということになるわけですが、共同調理場になりますと工場というような扱いになるものですから、こちらの用途地域の関係で建築基準法のただし書の規定がございまして、そちらの許可申請が必要になるというような考え方でございます。

○川原田英世委員 許可申請が必要になるというこ

とで、これはやっぱり当初想定されていなかったことが、課題として出てきたということで認識してよかったのでしょうか。

○高橋善彦学校教育部参事 当初計画からですね、こちらの許可申請が必要であるということを理解しておりましたし、以前に南地区共同調理場を集約化したときにも、そのような手続を行っております。

○川原田英世委員 行っているけれども、今回、それが課題として上がってきているのは、時間的な問題だということなののでしょうか。

何が問題だったのかを教えていただければと。

○高橋善彦学校教育部参事 この許可申請を出すだけではなくてですね、地域住民、潮見小学校の地域住民ですとか、そういった方たちに説明会の実施ですとか、北海道建築士会というところで審査をいただくという期間がございますので、その期間というのがちょっと不透明というところがありますことから、南地区共同調理場に関しても1年程度を要していたものですから、その分ですらそういったところで、新年度が望ましいのかなというふうに考えたところでございます。

○川原田英世委員 その点については理解しました。

いずれにしても、教育長のほうからお話があったように、今年度はということだと思いますので、逆に言うと、様々なことを新たに検討していく時間ができたともとられるかなと思いますので、その点はまた議会とですね、所管事務調査という形だと思いますが、意見交換をぜひさせていただいて様々な検討をしていただければと思っています。

それともう1個確認です。

委員会の中身というか、構成員が変わってから初めての委員会なので、僕はちょっと給食について伺いするのが初めてになるのですけれども、4月20日から実際に説明会を行ってきたということで、4月20日のときには、もうこの新たな計画が決定して動き出したということだと思うのですが、議会で減額補正の後にはどのような議論を経て、この新しい計画に至ったのか、その点の御説明をいただければと思います。

○高橋善彦学校教育部参事 3月の議会の経過を踏まえてですね、課題となっているところは変わらず、人材確保ですとか、そういったところが喫緊の課題であると。

教育委員会内部で検討した結果ですね、やはり集

約化が必要ではないかというような判断に至りまして、4月早々にですね、そういった意思決定をしまして学校の調理員ですとか、用務員ですとか、そういった方々に説明をしまして4月20日から各学校、PTA役員への説明を開始したというところでございます。

○川原田英世委員 意思決定に至ったプロセスをお伺いしたいなと思っています。

3月の議会での議論を今経て、この計画の意思決定に至ったということなのですが、そのときの議論ではやっぱり民間委託とセットの集約化ということが、終始ずっとそういう答弁だったものが変更された。

そのプロセスをどういった議論があって、そうなったのかをお伺いしたいと思います。

○高橋善彦学校教育部参事 3月の議会の中では、やはり委託というところへの不安といいますか、なかなか御理解いただけないのかなというようなところもございましたので、委託に関しましてはちょっと一旦置いて、さらなる研究が必要であるというような判断に至りまして、まずは集約化した上で直営実施することによってある程度一定数の調理員を集約し、学校に集めることによって安定的な給食が提供できるというような形を考えたところでございます。

○川原田英世委員 今の答弁でいくと、取りあえず1回民間委託は置いておいたと。

集約化については、最初の計画のとおりということなのですよね、今の答弁でいくとですね。

議会での議論でいくと、そもそも1回立ち止まってということから、もう1回課題をしっかりと見つけ直して、しっかり一から作り直していく必要があるのではないのかということが大きかったと思っているのですけれども、集約化についてはそのように全く同じものが出てきている……出てきていないのですが、説明会でされたと思うのですけれども、違う方法だとか、ゼロからしっかり考えていったのか。

ただ単純に、民営化だけがぼんと抜けているようにしか見えないのですから、集約化に関するどういった議論があったのか、その点をちょっと確認したいのですが。

○高橋善彦学校教育部参事 議論といいますか、委託、集約のセットという考え……基本的な考え方としては、将来的には委託するというところには変わ

りありませんけれども、まずは委託というところを一度置いてですね、集約化するというところの考え方で進めていたものですから、そのほかの別な考え方、人を増やすとか、正職員を入れるですとか、そういった考え方には至っておりません。

○川原田英世委員 今回は上がってくるものではないので、今回の議件では、あくまでも説明会の実施状況についてということですので深くは触れませんが、そこに至るところも議会としっかりと議論が必要だったのではないかなというふうに、僕は考えています。

一度立ち戻って課題を並べ直して、しっかり考えていこうということでの当初予算の減額修正ということでしたので、そこはしっかりとそのような意識を持っていただきたい。

まだ、これから間に合うと思いますので、持っていただきたいと思います。

保護者説明会の内容なので、これ以上の質問はしませんが、先般の協議会でも民間団体との話し合いをしまして、やっぱりこれから進めていくビジョンがないと駄目だということで、委員全員の認識を持たせていただきました。

課題はわかっております、もちろん。

すぐにでも取り組みたいという気持ちがあるというふうに、思っているというのはわかっています。

しかしそこに向かうには、ほかの課題、そもそも人が集まらない、辞めてしまうという課題、これをしっかりとクリアしていくということがないと前には進めないし、ビジョンが必要だと思っていますので、その点でこれからも所管事務調査を通して意見交換できればと思っていますので、よろしく願います。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

○石垣直樹委員 本資料の保護者説明会の参加実績の人数を見ると、思ったより少ないのかなというふうに思うのですけれども、この33人という数字は、この給食に関して説明を受けたいという方が来られたのかと思うのですけれども、この人数について市役所側はどのような判断をされているのでしょうか。

○高橋善彦学校教育部参事 参加人数の多いのか、少ないかといったところだと思いますけれども、参加人数につきましては、前回の説明会につきましてもそれほど多くはなかったものですから、ある程度想定していた範囲なのかなというふうに考えている

ところでございます。

○石垣直樹委員 この人数を見ると、興味関心が保護者の方は低いのかなというふうに関心取れるのですが、そういうふうな判断には、市役所側はならないというところですか。

○高橋善彦学校教育部参事 興味があるかどうかというところではございますが、保護者へお渡ししました説明資料の中にはですね、QRコードなどもついておまして、そちらで御意見を伺うような仕組みもとっていたところではございますけれども、なかなかそういったところにも御意見をいただけなかったというところを考えると、あまりこの件に関して、それほどの関心を持たれていないのかなというところが、伺えるかなというふうに思っております。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

○近藤憲治議員 ちょっと、説明会のやり取り等も含めて伺いたいのですけれども、今回の給食の一部集約、それから調理業務を民間委託への議論で、ちょっと市民の皆さんの反応の根幹にあるところが、小規模校の給食調理体制がとても大変な状況になっているというのを、こういう状況になって初めて知ったという人が結構いらっしゃるのです。

その事情を聞くと、だからこういうことをやらなきゃいけないのかという理解に進むのですけれども、多分3月の議会の前の段階というのは、小規模校の危機的状況というのをなかなか共有されていなかったのではないかと問題意識を私は思っています。

それで今回の説明会をやっていただいて、実際にPTAの役員の方々や会員の方々とやり取りする中で、小規模校の現状をどういうふうに関心取られているというふうに、説明した側としてはどう受け止めていますか。

○高橋善彦学校教育部参事 対象となる小規模校の白鳥台小学校、東小学校などにつきましては、やはり以前から説明していた部分がありますので、今人材不足だとかというところは、ある程度は理解はされていたところではございますが、それ以外の対象外となる学校につきましても、私どもで現状、喫緊の課題があるということを説明した上で、大変なのだなというのは御理解いただけたのではないかなというふうに感じております。

○近藤憲治委員 そこも現実ですね、問題をきちんと

として認識していただくという作業が、すごく大事だと思うのですよね。

市民の皆さんからすると、何でこれが議論になっているのかがよくわからないという方も相当数、3月の段階ではいらっしやいましたので、ただ現状になって、ようやく小規模校というのは本当に大変な状況にあるのだなど。

それは何らかの手だてが必要ですね、というふうに関心取られている方が増えたというふうに思います。

あわせて、3月の議会を見た市民の方たちから私の元に寄せられている声というのは、民間事業者が調理業務をすることに対して、なぜそこまでネガティブなのかという御指摘と、あと公会計化というのを、本来教育委員会は平成27年くらいから議論しているはずなのだけれども、なぜ公会計化については、触れられていないままで来ているのだろうかという御指摘でした。

そのような部分については、この説明会の中で意見として出ていますか。それとも、そこについて何らかの説明をしたという形跡はございますか。

○高橋善彦学校教育部参事 委託に関しましてはいろいろな賛否両論といたしますか、やはり委託に関しては、反対であるといった御意見もある一方でですね、やはり安定的な給食提供というところを考えれば、民間事業者に出していただいて、安定的に安心、安全を確保していただくというような考え方の保護者の方もいらっしやったところではございます。

また、公会計化につきましては、御質問のあった保護者に関しまして、今後そういったところも考えているというような説明をさせていただいたところではございますが、特段、説明会の中で全ての学校に対して、公会計化も進めていくというような説明はしてございません。

○近藤憲治委員 やり取りについては、理解をさせていただきました。

先ほど他の委員からのやり取りの中で、この事業に関わる予算の上程の時期についての答弁ありましたけれども、予算の上程の権限は、基本的に理事者側にありますので、そこはタイミングを見てというふうにそちらで考えていらっしやるというふうに認識させていただきますが、私としては小規模校のこの危機的状況が、まだ放置されてしまうのだなと心が痛む思いであります。そこについての議論はまた席を改めてさせていただきたいのと、あとは網走

市の学校給食が本来どうあるべきなのかというのを議会側として、委員会としてですね、きちんと議論をするという場も必要なのではないのかと、私は考えております。

私どもは会派としても、市民の皆さんに学校給食はどうか、というアンケートをオンラインで取らせていただいたりもしておりますので、そういった情報も提供させていただきながら、少し議会側でも給食はどうあるべきなのだろうね、という議論を深める場をつくっていただきたいと思います。

これは、委員長に対しての要望でございます。

以上です。

○松浦敏司委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、今、近藤委員からも提案がありましたし、さきの定例会の中でも数人の委員から所管事務調査を行うべきだというお話をいただいて、項目も一定程度出ております。

ほかにももし委員の中であれば、事務局のほうにもしくは私に直接でもいいのですが、出していただければというふうに思います。

とりあえず、集約化については年度内にはしないというような基本的な考え方が示されましたので、時間が一定ありますので、その間に委員会として調査をできるものは大いにして、学校給食の在り方について委員会としてしっかりと調査研究しなければならないというふうに私も思いますので、これは正副で協議しながら、また所管事務調査をしていきたいというふうに思っております。

ということで、以上のことでこの委員会は終了したいと思いますよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、そのようにしたいと思います。

これで文教民生委員会を終了いたします。

ご苦勞様でした。

午前10時42分閉会
